

# 京都中部総合医療センター卒後臨床研修プログラム概要

1. プログラム責任者 辰巳 哲也

## 2. プログラムの理念

京都中部総合医療センターの臨床研修は、医師が、医師として的人格を磨き、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷または疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身につけることを目標とした研修である。

## 3. 臨床研修の目標

将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識できるよう、医療人として必要な基本姿勢や態度、心構えを学ぶ。一般的な診療において頻繁に関わる疾患又は負傷に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身につける。あわせて、将来希望する専門分野における知識と初期技術を習得することを目標とする。

## 4. 研修プログラムの特色

必修科目は内科(24週)、救急(12週)を1年次、地域医療(4週)を2年次に、外科(4週)、小児科(4週)、産婦人科(4週)、精神科(4週)、一般外来研修(4週)を2年間の間に研修する。残りの期間を自由選択科目の研修に充てる。研修開始時に研修医各自の将来のキャリアに応じた診療科における研修(自由選択科目)を一定期間行った後に、必修科目の研修を開始することも可能である。

5. 研修期間 2年

## 6. 臨床研修を行う分野、病院又は施設、研修期間

	病院又は施設の名称	研修期間
内科	京都中部総合医療センター	24週
救急	京都中部総合医療センター	12週
地域医療	国保京丹波町病院 医療法人川西診療所	2週 2週 計4週
必修科目(外科、小児科、産婦人科、精神科)	京都中部総合医療センター	4週×4科 計16週 精神科4週のうち2週は下記(※1)
	福知会もみじヶ丘病院(精神科)	2週(※1)
一般外来研修	京都中部総合医療センター	4週
自由選択科目	京都中部総合医療センター	48週
	京都府立医科大学付属病院 (希望者のみ)	4週(希望者のみ)

※自由選択科目:内科(循環器、呼吸器、消化器、血液、神経、腎臓、内分泌代謝)

外科(消化器、呼吸器、乳腺、小児)、小児科、産婦人科、麻酔科、精神科、整形外科、放射線科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、病理診断科、脳神経外科

## 研修ローテーションモデル

### 1年次

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科、一般外来研修						救急			必修または自由選択		

### 2年次

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
必修または自由選択		地域	必修または自由選択								

### (備考)

- 1) 地域医療研修は臨床研修協力施設である国保京丹波町病院と川西診療所で2週間ずつ研修を行う。
- 2) 救急は救急室において内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科等の救急研修を行う。
- 3) 一般外来研修は内科外来で週1回、計20日以上行うことが望ましいが、外科、小児科研修中に研修することも可能。
- 4) 精神科は福知会もみじヶ丘病院でも研修を行う。
- 5) 希望者のみ2年次の9月～翌年3月までの間に4週間、京都府立医科大学付属病院での研修が可能。

## 7. 指導体制

研修期間内においてプログラムの一般目標、行動目標が達成できるように指導医や各科専門医が責任をもって教育、指導にあたり、適宜、評価をおこなう。研修中に発生する諸問題についてはプログラム責任者を中心に指導医、上級医の適切な助言、指導により解決に努める。

## 8. 協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設

### 協力型臨床研修病院

- 1) 京都府立医科大学付属病院  
内容 自由選択科目(希望者のみ)  
期間 1か月(希望者のみ)  
研修実施責任者 夜久 均
- 2) 福知会もみじヶ丘病院  
内容 精神科  
期間 2週間  
研修実施責任者 芝 伸太郎

### 臨床研修協力施設

- 1) 国保京丹波町病院  
内容 地域医療  
期間 2週間  
研修実施責任者 垣田 秀治
- 2) 川西診療所  
内容 地域医療  
期間 2週間  
研修実施責任者 川西 祥宏